

第3学年 道徳学習指導案

2025年2月8日土曜日 2校時

町田市立小山小学校

指導者 1組(29名) 中野 奈央
 2組(29名) 笠原 万里亜
 3組(29名) 丸山 千聖
 4組(29名) 佐藤 広基

- 1 ねらい 困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする態度を育てる。
「親切、思いやり」(学習指導要領の内容 B-6)
- 2 教材名 「やさしい人大さくせん」
(出典 東京書籍「新しい道徳」第3学年)
- 3 展 開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導入	1 「親切」に関わる経験を思い出す。 ・給食でこぼしてしまったときに、いっしょに拭いてくれた。	○自分がされた経験だけでなく、誰かがやってくれていたという経験でもよいことを伝える。
展 開	2 資料「やさしい人大さくせん」を読んで話し合う。 ①重いバケツを運んでいるとき、「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。 ②「わたし」は、どんな考えから、「やさしい人大さくせん」を実行しようと思ったのでしょうか。	○気持ちを引き出すために、必要に応じて動作化を行う。 ○親切の良さを多面的・多角的に考え、話し合わせる。 ☆「親切、思いやり」のよさを多面的・多角的に考えている学習状況を把握する。
	3 自分の親切について振り返る。 誰かに親切にしたことはありますか。そのとき、どんな気持ちになりましたか。	○場面や対象を広げて、これまでの自分の親切と気持ちを振り返らせる。 ☆親切が生み出す温かな気持ちや広がりについて考えている学習状況を把握する。
終末	4 教師の話聞く。	○日頃の学究生活で見つけた児童の親切、思いやりの姿を紹介する。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。
 授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。